

第3章 歯科口腔保健推進計画

めざす姿

歯でつくる 食べる楽しみ はつらつ生活

生涯食事をおいしく食べ、はつらつとした生活が送れるように、みんなで歯と口の健康づくりに取り組んでいきます。

重点的取り組み

歯科口腔保健計画は3つの重点的な取り組みを行います

重点的取り組み1 生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化

妊娠中の歯科疾患重症化予防のため、新たに妊婦歯科健診を実施します。

事業計画：妊婦歯科健診受診率

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
25%	25%	30%	30%	35%

重点的取り組み2 生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実

生涯を通じた口腔機能の維持改善のため、新たに後期高齢者歯科健診を実施します。

事業計画：後期高齢者歯科健診受診率

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
10%	10%	15%	15%	20%

重点的取り組み3 歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築

歯科口腔保健推進計画の具体的取り組みを市民と協働で推進していくため、（仮称）歯科口腔保健推進ボランティアを育成します。

事業計画：市民と協働で実施する普及啓発活動に参加した市民の数

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
10人	10人	10人	20人	20人

1. 歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善

(1) 歯科口腔保健の正しい知識の普及

【健康課題からみえた市の取り組み】

8020運動の言葉と意味がわからない人が51.2%います。歯の喪失の原因となるむし歯と歯周病は、歯口清掃、食生活、日常の生活習慣が大きく関与しているため、歯科口腔保健に関する正しい知識の普及啓発に積極的に取り組みます。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
8020運動の言葉と意味がわかる人の割合の増加(20歳以上)	38.4%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	45%以上	31年度
1歳6か月児で間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合の減少	8.9%	26年度	白井市1歳6か月児健康診査結果	5%以下	31年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	1歳6か月児・3歳児健診、2歳児歯科健診の場において、歯科疾患を予防するため歯口清掃の方法、甘味飲料の摂取、フッ化物利用によるむし歯予防の効果についての知識や情報を提供します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場において、歯科疾患を予防するため歯口清掃の習慣づけや、歯と口の健康に関する知識や情報を提供します。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○学校教育課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康相談事業	子育て支援センター及び児童館の歯科健康相談、電話・来所相談の場において、歯科疾患などの相談に対し支援を行います。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課	

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 学齢期	●むし歯予防を意識した歯みがきの方法を知ろう。 ●大人による毎日の仕上げみがきの大切さを知ろう。 ●間食として甘味飲料・食品を1日に2回以下にしよう。 ●フッ化物利用によるむし歯予防について理解しよう。
成人期 高齢期	●8020運動の言葉と意味を知ろう。 ●むし歯や歯周病予防の大切さについて理解しよう。 ●生涯美味しく食べるために歯と口腔の健康が大切であることを理解しよう。

コラム はつらつ生活 1 フッ化物（フッ素）について



フッ化物（フッ素）は、歯を強くする、初期むし歯を修復する、むし歯菌の活動を抑える働きがあります。

名称	内容
フッ化物歯面塗布	歯に直接フッ素を塗る方法です。 かかりつけ歯科医で年2回以上定期的に塗ってもらいましょう。
フッ化物配合歯みがき剤	歯みがきの際に、フッ化物が配合された歯みがき剤を使用する方法です。 現在市販されている歯みがき剤の多くにフッ化物が含まれています。
フッ化物洗口	フッ化物を溶かした液で、口の中をブクブクゆすぐ方法です。 かかりつけ歯科医の指示のもとに、家庭で行うことができます。

< 2 歳児歯科健診の様子 >



< フッ化物歯面塗布の様子 >



(2) 自ら進んで歯科口腔保健に関心を持ち、むし歯や歯周病予防に取り組む意識の向上

【健康課題からみえた市の取り組み】

歯みがき時のデンタルフロスや歯間ブラシの使用が30.9%、むし歯や歯周病予防に効果のある歯みがき剤の使用が23.6%と少ない傾向にあります。むし歯や歯周病予防を意識した毎日の歯みがきや、歯や歯肉の健康観察など自らが意識的に口の中をみることを啓発します。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
中学1年生の昼食後の歯みがき実施生徒の割合の増加	19.4%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	30%以上	31年度
むし歯予防や歯周病予防効果のある歯みがき剤を使用する人の割合の増加（20歳以上）	23.6%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	30%以上	31年度
1歳6か月児で毎日保護者が仕上げみがきをする習慣のある人の割合の増加	85.8%	26年度	白井市1歳6か月児健康診査結果	90%以上	31年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	3歳児健診の場などにおいて、正しい歯のみがき方についての指導を行います。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場において、自らが進んで毎日の歯みがきに取り組む意識の向上のため歯みがき指導を行います。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○学校教育課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康相談事業	子育て支援センター及び児童館の歯科健康相談、電話・来所相談において、歯と口の健康に関する相談に対し支援を行います。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課	
歯科 ^{こうくう} 口腔保健普及啓発事業	「よい歯のコンクール」、「歯と口の健康週間」 [＊] 普及標語、「むし歯予防作品展」などの参加者を募集し、歯と口の健康に関する意識の向上を図ります。	○健康課 ○学校教育課	○印旛郡市歯科医師会

＊ 歯と口の健康週間（はとくちのけんこうしゅうかん）

6月4日から10日を「歯と口の健康週間」としています。歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療を徹底することにより歯の寿命を延ばし、国民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 学齢期	●歯や歯肉など、口の中をよく観察しよう。 ●毎食後の歯みがきを実施しよう。 ●おやつは時間と量を決めて食べるようにしよう。 ●むし歯予防や歯周病予防に効果のある歯みがき剤を使用しよう。 ●「よい歯のコンクール」、「むし歯予防作品展」に応募しよう。
成人期 高齢期	●歯と口の健康に関心を持ち、意識的に口の中をみるようにしよう。 ●デンタルフロスや歯間ブラシを使用しよう。 ●間食はとり過ぎないようにしよう。 ●むし歯予防や歯周病予防に効果のある歯みがき剤を使用しよう。 ●「よい歯のコンクール」、「歯と口の健康週間普及標語」に応募しよう。

コラム はつらつ生活2 私の健康宣言



平成27年6月27日（土）に開催した「第2次しろい健康プラン策定に関する講演会」において、参加者が5年後の自分をイメージした目標「私の健康宣言」を立てました。

【歯科口腔保健推進計画の健康宣言】

意識して丁寧に歯をみがくようにします

歯みがきの回数を今よりも増やします

かかりつけ歯科医へ定期的に歯科健診に行きます

＜グループごとに歯と口の健康宣言をしている様子＞



※資料編に「第2次しろい健康プラン策定に関する講演会」の詳細を掲載してあります。

2. 歯科疾患の予防

(1) 生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化

【健康課題からみえた市の取り組み】

市で実施している歯周疾患検診の受診率が3.0%と低い状況にあります。歯周疾患検診受診率向上の取り組みとともに、歯科健診結果で歯科治療が必要な人に対する受診勧奨の強化を図り、歯科疾患の重症化予防に取り組みます。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
3歳児でむし歯のない人の割合の増加	83.1%	26年度	白井市3歳児健康診査結果	90%以上	31年度
12歳児のむし歯本数の減少	1.6本	26年度	白井市児童生徒健康診断結果	1.2本以下	31年度
歯周疾患検診受診率の増加	3.0%	26年度	白井市歯周疾患検診結果	5%以上	31年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	子どもから大人までを対象とした歯科健診の場において、要治療者に対する早期受診の勧奨を行います。 妊娠期の歯科疾患重症化予防の取り組みとして新たに妊婦歯科健診を実施します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	生活習慣病予防事業やなるほど行政講座において、かかりつけ歯科医の大切さ、喫煙と歯周病の関係について周知します。	○健康課 ○企画政策課	
歯科健康相談事業	電話・来所相談において、歯科疾患に関する相談に対し早期受診勧奨などの支援を行います。	○健康課	
歯科 ^{こうくう} 口腔保健普及啓発事業	「歯と口の健康週間」、「いい歯の日」 [＊] を周知し、かかりつけ歯科医の大切さ及び歯科疾患の早期発見と重症化予防につなげます。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科医療体制整備事業（白井市年末年始歯科診療）	年末年始の市内歯科医院休診時における歯痛などの応急処置を行うため、年末年始の2日間歯科診療を実施します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

＊ いい歯の日（いいはのひ）

11月8日を「いい歯の日」とし、「いつまでも美味しく、そして、楽しく食事をとるために、口の中の健康を保っていただきたい」という願いを込めて、厚生労働省とともに1989年（平成元年）より「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という「8020運動」を積極的に推進しています。「いい歯の日」は、その「8020運動」推進の一環であり、国民への歯科保健啓発の強化を目的としています。

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

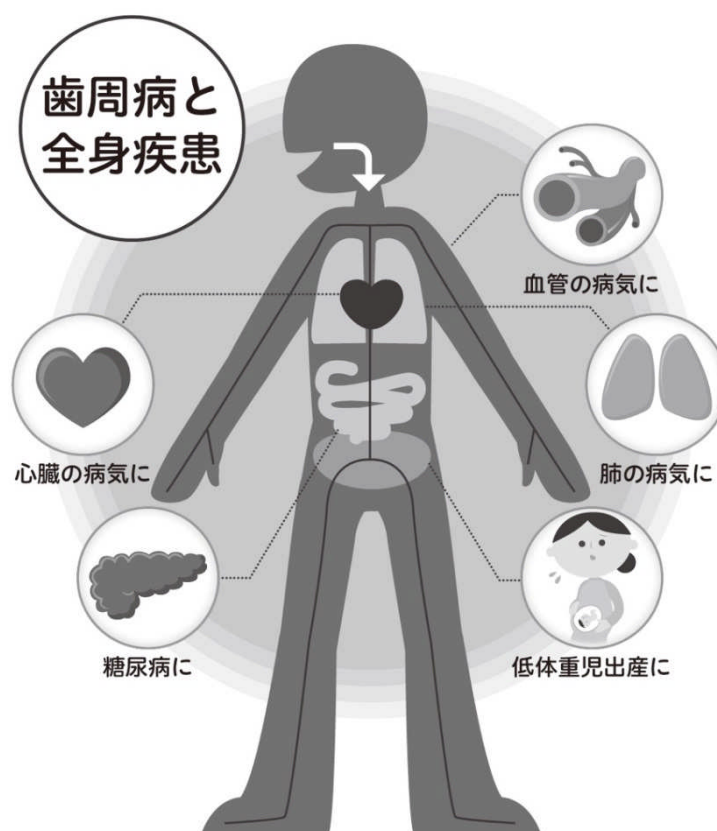
乳幼児期 学齢期	●フッ化物歯面塗布の実施や、フッ化物配合歯みがき剤を使用しよう。 ●歯科健康診査で要受診となった場合には早期に歯科医院を受診しよう。 ●小学校低学年までは保護者が仕上げみがきをしよう。
成人期 高齢期	●日常の歯みがきの積極的な取り組みや、かかりつけ歯科医をもとう。 ●妊娠期に歯科健康診査を受診しよう。 ●歯周病と喫煙の関係を理解し、禁煙と生活習慣の改善に取り組もう。

コラム はつらつ生活3 歯周病と全身の健康の関係について



歯周病が進行し、炎症反応によって生じたさまざまな物質や歯周病菌が産生する毒素が毛細血管から血液中に入り込み全身へ移行します。

歯周病は脳梗塞や心筋梗塞などの循環器障害、流産（低体重児出産）、糖尿病や誤嚥性肺炎など多数の病気と関連していることが近年わかってきました。



（２）歯科疾患と全身の健康のかかわりについての普及啓発

【健康課題からみえた市の取り組み】

誤嚥性肺炎^{ごえんせい}の言葉と意味がわかる人は52.5%です。歯周病と全身の健康（誤嚥性肺炎、糖尿病、早産）のかかわりについての知識の普及が必要です。

また、千葉県歯・口腔保健計画により、児童虐待^{ぎやくたい}を受けている子どもの早期発見について、歯科医や関係機関との連携を図ります。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
中学生で歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	36.5%	26年度	白井市児童生徒健康診断結果	25%以下	31年度
誤嚥性肺炎 ^{ごえんせい} の言葉と意味がわかる人の割合の増加（20歳以上）	52.5%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	60%以上	31年度
40歳で進行した歯周炎を有する人の割合の減少	50.0%	26年度	白井市歯周疾患検診結果	35%以下	31年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	子どもの歯科健診や市内歯科医院 ^{ぎやくたい} の場において、多数のむし歯があり児童虐待の疑いがある場合について、関係機関と連携を図ります。 妊婦歯科健診や歯周疾患検診の場において、歯周病と全身の健康のかかわりについて周知します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場において、むし歯・歯周病と全身の健康のかかわりについて周知します。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○学校教育課	
歯科口腔保健普及啓発事業 ^{こうくう}	「歯と口の健康週間」、「いい歯の日」において、多数歯むし歯・歯周病と全身の健康のかかわりについて周知します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 学齢期	●多数歯むし歯・歯周病と全身の健康のかかわりについて理解しよう。
成人期 高齢期	●歯周病と全身の健康（誤嚥性肺炎 ^{ごえんせい} ・糖尿病・早産など）のかかわりを理解しよう。

＊誤嚥性肺炎^{ごえんせい}

誤嚥性肺炎は、細菌が唾液や胃液とともに肺に流れ込んで生じる肺炎です。高齢者の肺炎の70%以上が誤嚥に係しているといわれています。再発を繰り返す特徴があり、それにより耐性菌が発生し抗菌薬治療に抵抗性を持つことがあります。そのため優れた抗菌薬治療が開発されている現在でも治療困難なことが多く、高齢者の死亡原因となっています。

3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得

(1) 生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実

【健康課題からみえた市の取り組み】

80歳以上で食べ物を噛む状態に支障をきたしている人が17.1%います。生活の質の向上には、生涯にわたり健全な口腔機能を維持することが重要であり、乳幼児期から学齢期にかけて獲得した口腔機能を、高齢期までできる限り維持できるよう、歯の喪失防止に向けた支援に取り組めます。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合の増加	91.7%	26年度	白井市3歳児健康診査結果	93%以上	31年度
中学1年生でよく噛んで食べていると思う生徒の割合の増加	54.2%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	60%以上	31年度
硬い食べ物でも普通に噛んで食べることができる人の割合の増加（20歳以上）	61.3%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	65%以上	31年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	市内歯科医院において、後期高齢者医療被保険者の歯科健診を新たに実施します。 子どもから高齢者までを対象とした歯科健診の場において、かみ合わせが良好でない人に対し、指導を行います。	○健康課	○千葉県歯科医師会 ○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場において、よく噛んで食べることの大切さ、口の体操について周知します。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○学校教育課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康相談事業	電話・来所相談において、かみ合わせについての相談に対し支援を行います。	○健康課	
食育推進事業	小学生の食育指導において、よく噛んで食べることを指導します。	○学校教育課	

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 学齢期	●よく^か噛んで食べることの大切さを学び、意識して実践しよう。 ●口の体操など、^{こうくう}口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実施しよう。
成人期 高齢期	●よく^か噛んで食べることを意識して実践しよう。 ●口の体操など、^{こうくう}口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実施しよう。 ●^か歯の喪失を予防し、^か噛んで食べられる^{こうくう}口腔機能を維持しよう。

コラム はつらつ生活4 歯の数と食べられるものの関係



歯の本数が少なくなると、しっかりものが^か噛めなくなることから、食べられるものの種類が減っていきます。18～28本の歯があればどんな食品でも食べられると言われています。



資料：厚生労働省 標準的な健診・保健指導プログラム＜別冊＞保健指導における学習教材集
「歯の数と食べられるものの関係」より

4. 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが 困難な人に対する歯科口腔保健

(1) 障害を有する人、介護を必要とする人などの定期歯科健診受診機 会の実態把握

【健康課題からみえた市の取り組み】

障害を有する人、介護を必要とする人などが、定期歯科健診を受診できているかの把握ができていません。障害を有する人、介護を必要とする人などは、口腔^{こうくう}の衛生状態を良好に保つことが難しく、継続的な口腔管理が必要であることから、定期的な歯科健診が受けられているかの実態把握に取り組みます。

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	障害を有する人、介護を必要とする人などが定期的な歯科健診が受けられているかの実態把握を行います。	○健康課 ○社会福祉課 ○高齢者福祉課	○障害者（児） 通所施設 ○介護老人施設 など

【障害者（児）通所施設、介護老人施設への提案】

施設担当者

●定期歯科健診実施に向けた実態調査に協力します。

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

障害を有する人
介護を必要とする人

●定期歯科健診実施に向けた実態調査に協力しよう。
●毎食後の口腔^{こうくう}ケアの実施と定期歯科健診の必要性を理解し実践しよう。

(2) 障害を有する人、介護を必要とする人などに対する歯科医療情報の提供の充実

【健康課題からみえた市の取り組み】

障害を有する人、介護を必要とする人などは、口腔^{こうくう}の衛生状態を良好に保つことが難しく、継続的な口腔^{こうくう}管理が必要であることから、関係機関と協力して必要な時に歯科医療の情報が得られるように支援します。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
歯科医療が受けられない難病患者の割合の減少	2.4%	26年度	白井市障害福祉プラン策定に向けての基礎調査	1%以下	31年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科医療体制整備事業	障害を有する人、介護を必要とする人などが必要な時に歯科診療が受けられているかの実態を把握します。また訪問歯科診療が必要な人に対し、市、施設などが適切に歯科医療の情報が提供できるような体制を整備します。	○健康課 ○社会福祉課 ○高齢者福祉課	○千葉県歯科医師会 ○障害者（児）通所施設 ○介護老人施設など
ケアマネジャーとの連携事業	地域包括支援センターのケアマネジメント向上検討会などにおいて、市内施設などで従事するケアマネジャーに対して歯科口腔 ^{こうくう} 保健についてや歯科医療についての情報を提供します。	○高齢者福祉課（地域包括支援センター） ○健康課 ○社会福祉課	○白井市介護支援専門員協議会

【障害者（児）通所施設、介護老人施設などの従事者】

ケアマネジャーなどの施設関係者	●歯科医院に通院困難な人に対し、訪問歯科診療などの歯科医療情報を提供します。
-----------------	--

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

障害を有する人 介護を必要とする人	●歯科医療機関情報を得てかかりつけ歯科医を見つけよう。 ●疾病の早期発見のために定期歯科健診が必要であることを理解し実践しよう。 ●毎日の歯みがきを継続しよう（家族支援含む）。
----------------------	--

5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

(1) 定期歯科健診受診率向上に向けた取り組みの充実

【健康課題からみえた市の取り組み】

過去1年間で歯科健診を受診した人は50.8%となっています。歯科疾患の早期治療、早期発見のため、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けることの勧奨に取り組めます。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加（20歳以上）※	50.8%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	60%以上	31年度
かかりつけ歯科医がある人の割合の増加（20歳以上）	68.2%	26年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	70%以上	31年度

※このめざそう値は、健康増進計画のめざそう値としての位置づけもあります。

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	歯周疾患検診対象者に対し、積極的な受診勧奨を行います。 子どもから高齢者までを対象とした歯科健診の場において、かかりつけ歯科医を決め、定期的に歯科健診を受診するように周知します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場において、かかりつけ歯科医を決め、定期的に歯科健診を受診するように周知します。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○学校教育課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康相談事業	電話・来所相談において、市内歯科医院の情報についての相談に対し支援を行います。	○健康課	

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 学齢期 成人期 高齢期	●かかりつけ歯科医を決め、定期的に歯科健診を受診しよう。
---------------------------	------------------------------

（２）歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築

【健康課題からみえた市の取り組み】

市の歯科口腔保健を普及推進するための組織連携体制の整備が必要であることから、歯科口腔保健を推進するための横断的な組織連携に取り組みます。

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科口腔保健普及啓発事業	「むし歯予防作品展」、「歯と口の健康週間」、「いい歯の日」についての普及啓発を積極的に行います。	○健康課 ○学校教育課	○印旛郡市歯科医師会
推進活動整備事業	（仮称）歯科口腔保健推進ボランティアを育成し、市民と協働で計画の取り組みを普及推進します。	○健康課	○母子保健推進員 ○食生活改善推進員
歯科口腔保健推進事業	（仮称）歯科口腔保健評価会議など、市の歯科口腔保健を円滑に推進するため、関係機関との連携体制を構築します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 学齢期 成人期 高齢期	●（仮称）歯科口腔保健推進ボランティアに参画しよう。 ●「歯と口の健康週間」や「いい歯の日」を理解し、歯みがきなどに意識的に取り組もう。 ●「歯と口の健康週間普及標語」に応募しよう。
---------------------------	---

◎歯科口腔保健推進計画事業一覧◎

※「○」は具体的取り組みに該当する事業で、そのうち「●」については重点的に取り組む事業です。

No	【主な取り組み事業】 事業名	該当する事業	具体的取り組み									
			1- (1)	1- (2)	2- (1)	2- (2)	3- (1)	4- (1)	4- (2)	5- (1)	5- (2)	
			歯科口腔保健の正しい知識の普及	組む意識の向上	自ら進んで歯科口腔保健に関心をもち、むし歯や歯周病予防に取り組む意識の向上	生涯を通じて歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化	歯科疾患と全身の健康のかかわりについての普及啓発	生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実	生涯を通じてよく噛んで食べるのとや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実	障害を有する人、介護を必要とする人などの定期歯科健診受診機会の実態把握	障害を有する人、介護を必要とする人などに対する歯科医療情報の提供の充実	定期歯科健診受診率向上に向けた取り組みの充実
1	歯科健診事業	妊婦歯科健康診査 【新規】重点的取り組み1			●	○	○			○		
2		1歳6か月児健康診査	○		○	○	○			○		
3		2歳児歯科健康診査	○		○	○	○			○		
4		3歳児健康診査	○	○	○	○	○			○		
5		保育園歯科健康診査			○	○	○			○		
6		就学児（入学前）健康診断			○		○			○		
7		児童生徒健康診断			○	○	○			○		
8		こども発達センター-歯科健康診査			○		○	○	○	○		
9		歯周疾患検診			○	○	○			○		
10		千葉県心身障害者歯科保健巡回診療指導事業		○	○		○		○	○		
11		後期高齢者歯科健康診査 【新規】重点的取り組み2			○		●			○		
12	歯科健康教育事業	プレ☆パパママスクール	○	○						○		
13		かみかみ教室	○	○			○					
14		保育園歯科保健指導	○	○		○	○					
15		児童生徒の歯科保健指導	○	○		○	○			○		
16		生活習慣病予防教室「歯周病予防」	○	○	○	○				○		
17		いきいき夢情報教室	○	○			○			○		
18		スポ-ツフェスタ歯科健康教育	○	○			○					
19		市民大学校「歯と口の健康」	○	○			○			○		
20		なるほど行政講座「歯っぴいスマイル講座」	○	○	○					○		
21	歯科健康相談事業	子育て支援センター-すこやか相談	○	○						○		
22		電話・来所相談	○	○	○		○		○	○		
23	歯科口腔保健普及啓発事業	よい歯コンクール		○								
24		普及標語コンクール		○								
25		むし歯予防作品展		○							○	
26		「歯と口の健康週間」「いい歯の日」普及啓発			○	○					○	
27	食育推進事業	児童の食に関する指導					○					
28	推進活動整備事業	（仮称）歯科口腔保健推進ボランティア育成 【新規】重点的取り組み3									●	
29	歯科口腔保健推進事業	（仮称）庁内健康づくり推進会議									○	
30		（仮称）歯科口腔保健評価会議									○	
31		健康づくり推進協議会									○	
32	ケアマネジャーとの連携事業	地域包括支援センターのケアマネジメント向上検討会							○			
33	歯科医療体制整備	訪問歯科診療（情報提供）							○			
34		年末年始歯科診療			○							